

2008年3月期 第3四半期決算説明会

2008年1月30日

日本郵船(株)



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

目次

- 1) 07 / 12期 決算 (P.2 – P.4)
- 2) 08 / 3期 業績予想 (P.5 – P.7)
- 3) セグメント別状況 (P.8 – P.11)
 - 航空運送事業 (P.12 – P.14)



07 / 12期 決算サマリー

1) 前年同期比 売上高 + 21%、経常利益 + 86%の
 増収増益により**第3四半期最高益を更新!**
 (億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
06/12期		16,023		770		804		487	
07/12期		19,374		1,486		1,497		931	
増減	%	3,351	21%	716	93%	693	86%	445	91%

- 2) 海運部門 : **海運業合計で 687億円の増益**
- 3) 非海運部門 : **主要3部門合計で 66億円の増益**
全6部門(含むNCA)合計では7億円の増益
- 4) 為替・燃料油 : (06/12期 vs 07/12期・第3四半期期中平均比較)
 為替レート 1.61円の円安 (115.96円 117.57円)
 燃料油価格 \$49.47/MT高 (\$326.34/MT \$375.81/MT)

前年同期比増減分析

(億円)

円安	24	今期 117.57円 / 1.61円の円安
燃料油高	130	今期 \$375.81 / \$49.47の燃料油高
海運市況変動など	658	
非海運部門	7	新規連結 13億を除く
コスト削減	104	海運 88億円、非海運 16億円
新規連結	44	海運 31億円、非海運 13億円
合計	693	

経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約 20 億円の増益

燃料油 \$1/MTの燃料油価格上昇で約 3.5 億円の減益

07 / 12期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/12月期	4,316	5,724	3,517	938	340	752	87	1,328	979	16,023
07/12月期	5,039	7,604	4,097	1,154	364	772	86	1,442	1,184	19,374
増減	723	1,879	581	216	25	20	1	115	206	3,351

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/12月期	70	764	120	40	39	120	29	1	0	804
07/12月期	107	1,273	136	76	53	187	32	6	0	1,497
増減	178	509	16	36	14	67	3	4	0	693

(売上高)	07/12期	06/12期	増減	増減率
不定期船	6,644	4,849	1,795	37%
タンカー	959	876	83	10%
計	7,604	5,724	1,879	33%

08 / 3期 修正業績予想サマリー

- 1) 業績予想：売上高・経常利益ともに過去最高を予想。
売上高 2兆5,800億(前回予想比 + 400億 / + 2%)
経常利益 2,000億(同 + 200億 / + 11%)に上方修正
- 2) 海運部門：定期船は通期で + 15億、不定期専用船は市況高騰による3Q上振れ分を含めて通期で + 180億、業績予想を上方修正
- 3) 非海運部門：全6部門合計で + 5億上方修正。
NCAは計画通りの進捗で、前回予想を据え置き。
- 4) 4Q 為替・燃料油前提
為替：108円/ドル 燃料油価格：\$ 480 / MT
- 5) 配当予想：年間24円 / 株(中間12円実施 + 期末12円)

08 / 3期通期業績予想

(億円)

	前回予想			今回予想			増減 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	12,567	12,833	25,400	12,567	13,233	25,800	400 2%
営業利益	907	913	1,820	907	1,093	2,000	180 10%
経常利益	932	868	1,800	932	1,068	2,000	200 11%
純利益	550	560	1,110	550	650	1,200	90 8%

為替
燃料油

¥119.64	¥113.00	¥116.32	¥119.64	¥110.73	¥115.18	¥-1.14
\$349.89	\$430.00	\$389.95	\$349.89	\$453.84	\$401.87	\$11.92

08 / 3期 4Q 為替 前提 : 108円/\$
08 / 3期 4Q 燃料油価格 前提 : \$480/MT

08 / 3期・通期業績予想 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	6,600	9,900	5,480	1,460	500	1,000	110	1,910	1,560	25,400
今回予想	6,630	10,300	5,510	1,490	485	1,010	110	1,950	1,685	25,800
上期実績	3,310	4,888	2,608	769	263	494	55	935	755	12,567
下期予想	3,320	5,412	2,902	721	222	516	55	1,015	930	13,233
増減	30	400	30	30	15	10	0	40	125	400

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	80	1,620	205	80	55	265	35	10	0	1,800
今回予想	95	1,800	190	85	55	265	40	0	0	2,000
上期実績	77	801	79	41	51	140	20	2	0	932
下期予想	18	999	111	44	3	125	20	2	0	1,068
増減	15	180	15	5	0	0	5	10	0	200

(売上高)	今回予想	前回予想	増減	増減率
不定期船	9,050	8,660	390	5%
タンカー	1,250	1,240	10	1%
	10,300	9,900	400	4%

セグメント別状況

1. 海運業 - 1) コンテナ輸送実績 / 自動車輸送台数

コンテナ輸送量実績(千TEU)

	06/4-12 (実)	07/4-12 (実)	増減	増減	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減	増減
アジア 北米	538	584	46	8.6%	704	773	69	9.7%
(消席率)	86%	88%			85%	88%		
アジア 欧州	349	401	52	14.8%	466	537	71	15.2%
(消席率)	93%	90%			93%	91%		

* 欧州航路は07/3期実績より域内航路を除外した為、一部Restate値となっています。

自動車輸送台数実績(万台)

	06/4-12 (実)	07/4-12 (実)	増減	増減	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減	増減
全航路	237	259	22	9.3%	318	346	28	8.8%

* 計上基準変更の影響で、07/3期実績はRestate値となっています。

セグメント別状況

1. 海運業 - 2)

バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	07 / 3期			08 / 3期				
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期 (実績)	上期 (実績)	3Q (実績)	4Q (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)
ばら積船(ケープサイズ)	63	105	84	162	265	151	208	185
ばら積船(ハンディサイズ)	81	104	92	139	201	144	173	156
VLCC	67	47	57	43	87	50	69	56

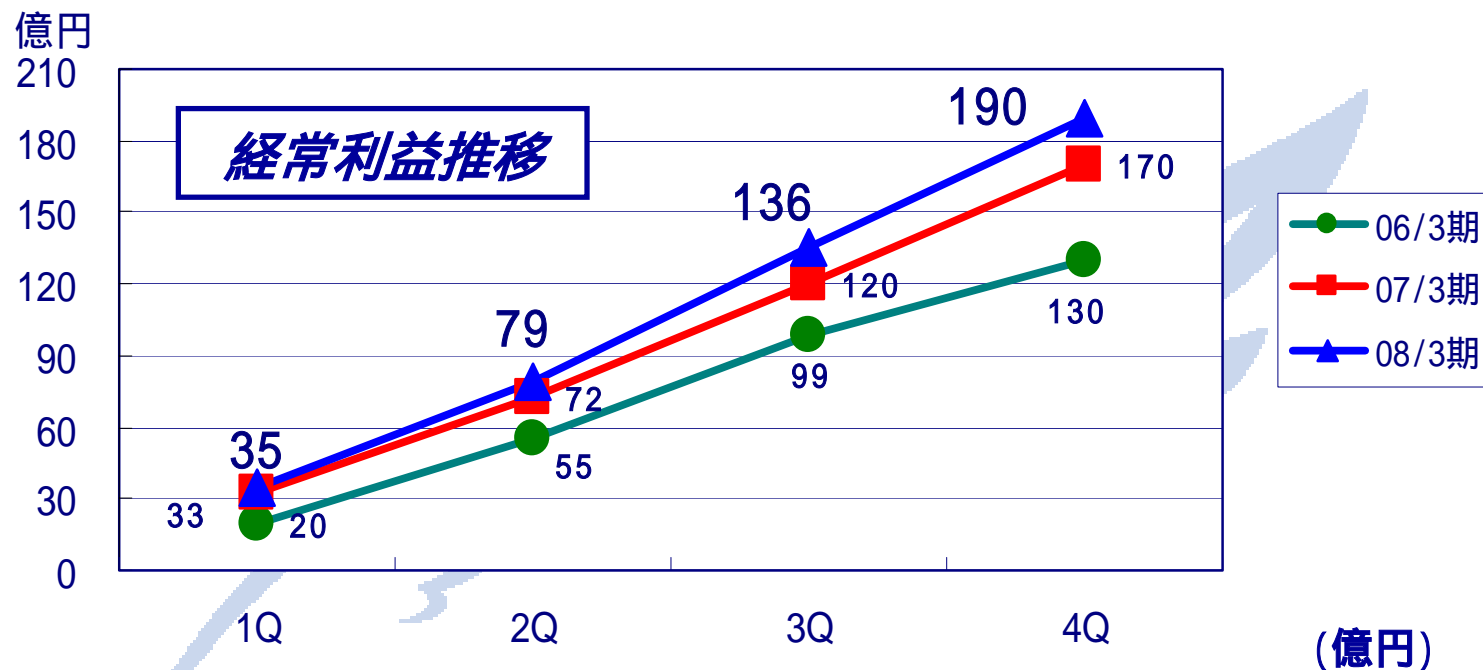
05 / 3期実績を100とした指数表示

ばら積船 : 第3四半期の市況は、未曾有の高水準で推移。

タンカー : 07年末に一時的に急騰。

セグメント別状況

2. 物流事業：北米・欧州で減速したが利益成長は維持。



08/3期経常利益予想	上期(実)	3Q(実)	4Q(予)	下期(予)	通期(予)
NYK Logistics部門	28	23	19	42	70
YAS部門	51	34	35	69	120
Total	79	57	54	111	190

セグメント別状況

3. ターミナル関連事業

1) 既存ターミナル：

在米ターミナルは、取扱高が前年実績・今期計画をともに上回り、好調に推移。

2) 新規ターミナル：

上海港・大小洋山コンテナターミナルの共同投資者に内定。大連港・大窑湾に次ぐ中国展開。

4. 客船事業

1) 飛鳥 は、乗船率・運賃単価ともに高水準。

2) クリスタルは、運賃単価が上昇し好調維持。

航空運送事業 (NCA)

1) 08/3期 修正予想の前回予想比較

(億円)

	08/3期 前回予想			08/3期 修正予想				
	上期(実)	下期(予)		上期(実)	3Q(実)	4Q(予)	下期(予)	
売上高	494	506	1,000	494	278	238	516	1,010
経常損益	140	125	265	140	47	78	125	265
MOPS	\$84	\$100	\$92	\$84	\$106	\$109	\$107	\$96

- ・ 利益計画は、燃料油高にも関わらず予想通りに進捗。
- ・ 4Q MOPS前提を\$109 / BBLに修正。
- ・ 経年機材を今期中に退役させ、**機材更新を加速。**



航空運送事業 (NCA)

2) 航路別 L/F の推移

	08/3期 前回予想	08/3期 今回予想				
		上期(実)	3Q(実)	4Q(予)	下期(予)	
アジア 北米	97%	99%	98%	95%	96%	97%
北米 アジア	80%	82%	76%	79%	78%	80%
アジア 欧州	98%	98%	104%	99%	102%	100%
欧州 アジア	93%	91%	102%	94%	98%	95%
日本 アジア アジア域内	68%	72%	61%	59%	60%	66%
アジア 日本	71%	69%	81%	74%	78%	74%
全航路平均	79%	80%	81%	77%	79%	80%

アジア/日本 北米の積高を合算した物量によるL/F

L/F = Gross Chargeable Weight/ACL (Allowable Cabin Load)

航空運送事業 (NCA)

3) Phoenix Project 2.0 の機材計画

機数 (年度末)	06/3期	Phase - 1			Phase - 2				Phase - 3	
		07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期		16/3期
B747 - 200F	10	5	3							
B747 - 400F	2	4	6	10	10	10	10	10		10
B747 - 8F					2	5	8	11		14
他社スペース		2	2.5	3	3	3				
合計	12	11	12	13	15	18	18	21		24

(自社機材)

平均機齢 (年度末)	16.1	11.4	7.8	1.9	2.4	2.8	3.3	3.7		6.2
平均稼働時間 / 日	12.2	11.1	11.4	12.6	12.0	12.8	13.2	13.2		13.2

(運航効率)

運航コスト / ATK	100	113	108	92	85	80	76	75		72
-------------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	--	----